

製品名: CYP4F2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09672**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	CYP4F2
別名	CYP4F2; Leukotriene-B(4) omega-hydroxylase 1; CYP1VF2; Cytochrome P450 4F2; Cytochrome P450-LTB-omega; Leukotriene-B(4) 20-monooxygenase 1
遺伝子 ID	8529.0
SwissProt ID	P78329
免疫原	抗血清はヒト CYP4F2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

背景

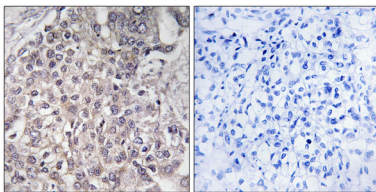
この遺伝子は、シトクロム P450 スーパーファミリー酵素のメンバーをコードしています。シトクロム P450 タンパク質はモノオキシ

ゲナーゼであり、薬物代謝やコレステロール、ステロイド、その他の脂質の合成に関わる多くの反応を触媒します。このタンパク質は小胞体に局在します。この酵素は、強力な炎症メディエーターであるロイコトリエン B4 の不活性化および分解プロセスを開始します。この遺伝子は、19 番染色体上のシトクロム P450 遺伝子クラスターの一部です。このファミリーの別のメンバーである CYP4F11 は、約 16kb 離れています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: (6Z,8E,10E,14Z)-(5S,12R)-5,12-ジヒドロキシコサ-6,8,10,14-テトラエノエート + NADPH + O(2) = (6Z,8E,10E,14Z)-(5S,12R)-5,12,20-トリヒドロキシコサ-6,8,10,14-テトラエノエート + NADP(+) + H(2)O.,補因子: ヘム基.,機能: シトクロム P450 は、ヘムチオレートモノオキシゲナーゼ群である。肝ミクロソームにおいて、この酵素は NADPH 依存性電子伝達経路に関与する。ステロイド、脂肪酸、生体異物など、構造的に無関係なさまざまな化合物を酸化します。類似性:シトクロム P450 ファミリーに属します。組織特異性:肝臓。 ,

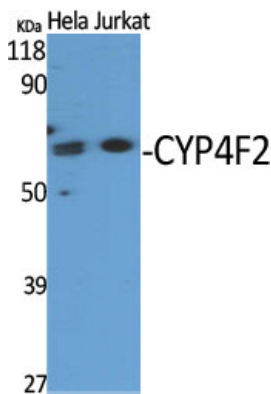
研究分野

アラキドン酸代謝

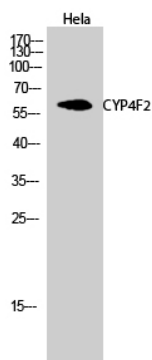
画像データ



シトクロム P450 4F2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



CYP4F2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



CYP4F2 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析